

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第28週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が6,747例あり、先週(3,635例)の約1.9倍となった。2022年の累積報告数は63,808例となった。1週当たりの報告数としては、第15週の4,139例を超え過去最多となった。

全数報告の感染症 (28週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	結核性胸膜炎	咳、痰
		都城	90歳代	女	顔面結核	なし
5類	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
			50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹

新型インフルエンザ等感染症 (28週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 6,747例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群										症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
宮崎市	3,496例	664	679	367	567	505	281	208	165	46	14	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	949例	158	220	76	132	131	80	66	54	22	10	
延岡	557例	68	94	61	75	91	52	41	30	23	22	
日南	404例	53	101	35	55	49	38	42	22	7	2	
小林	320例	73	89	26	45	39	20	14	14	-	-	
高鍋	464例	90	74	47	61	65	37	42	33	10	5	
高千穂	48例	4	6	3	11	6	4	5	6	1	2	
日向	335例	53	59	30	48	55	30	18	22	11	9	
中央	137例	37	25	3	18	20	12	13	5	2	2	
県外	37例	6	1	12	6	4	4	3	1	-	-	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は355人(定点当たり10.1)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

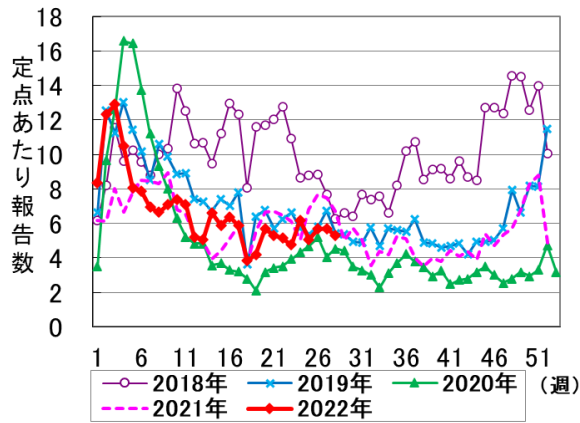
報告数は190人(5.3)で、前週比93%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.2)の約0.9倍であった。日南(11.7)、小林(11.3)、日向(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

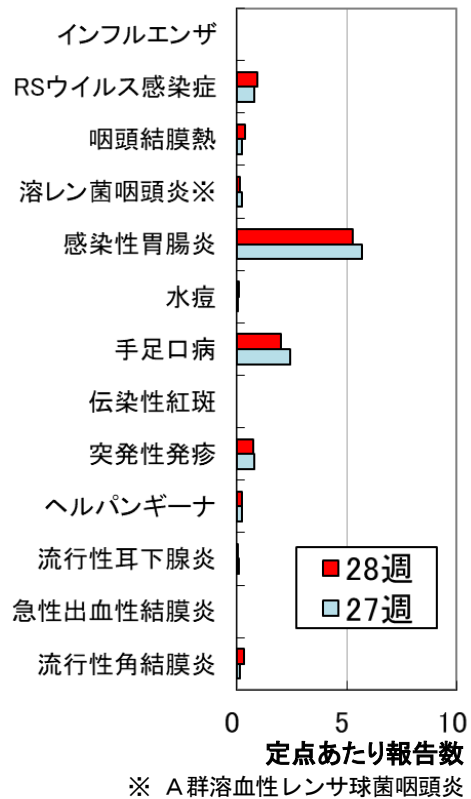
報告数は73人(2.0)で、前週比84%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(5.0)の約0.4倍であった。都城(6.3)、日南(5.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

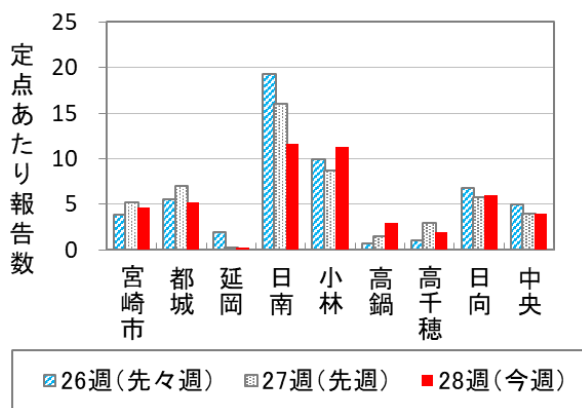
感染性胃腸炎 発生状況



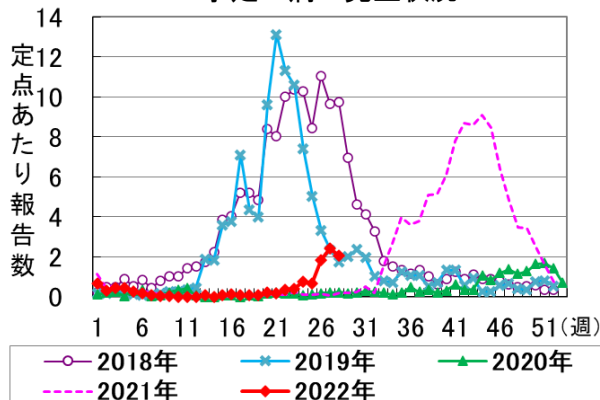
《前週との比較》



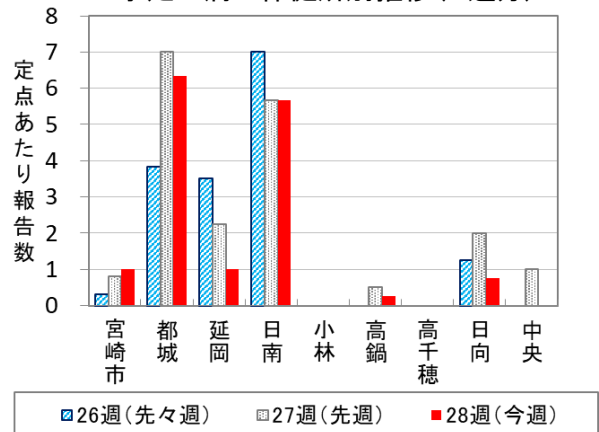
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(6.3)
延岡	なし
日南	手足口病(5.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊
・手足口病(5)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年7月18日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	5～9歳	女	2022.06.21	発熱(38.0℃)、胃腸炎(水様性下痢)、頭痛	便	2022.06.29
EPEC(O153:H7)	0～4歳	男	2022.06.22	発熱(38.1℃)、胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2022.07.05
EPEC(OUT:H40)	5～9歳	男	2022.06.24	発熱(38.7℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.07.05

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ヒトパレコウイルス3型	0～4歳	男	2022.05.11	新生児感染症、39.0℃、発疹(紅班)、黄疸	便 咽頭拭い液 髄液	2022.07.14
ヒトヘルペスウイルス6	0～4歳	男	2022.05.23	急性気管支炎、40.9℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2022.07.15

○乳児1名から、ヒトパレコウイルス3型(HPeV-3)が検出された。HPeVは小児では比較的軽症の胃腸炎や上気道炎の原因となり、乳児では重症例の報告がある。典型的な症例は、発熱や手掌足蹠・四肢・体幹の一過性の紅斑を呈し、白血球数やCRPなどの炎症マーカーは正常範囲内であることが多い。HPeV感染症に対する予防としては、マスク着用や手洗いを中心とした衛生行動の徹底が必要である。

🇯🇵 全国2022年第27週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	209例			
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	88例	
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	2例	つつが虫病 1例
	デング熱	2例	日本紅斑熱	7例	マラリア 1例
	レジオネラ症	47例			
5類感染症	アメーバ赤痢	6例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 15例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 8例
	後天性免疫不全症候群	12例	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	水痘(入院例) 6例
	梅毒	174例	播種性クリプトコックス症	3例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3例
	百日咳	6例	風しん	1例	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 111%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、水痘及び伝染性紅斑であった。

RSウイルス感染症の報告数は4,738人(1.5)で前週比162%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約1.2倍であった。三重県(7.2)、愛知県(4.4)、大阪府、島根県(4.3)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

手足口病の報告数は4,474人(1.4)で前週比146%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.5)の約0.4倍であった。新潟県(5.3)、千葉県(5.1)、沖縄県(4.6)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2022年6月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人(2.2)で、前月比73%と減少した。また、昨年6月(4.4)の約0.5倍であった。

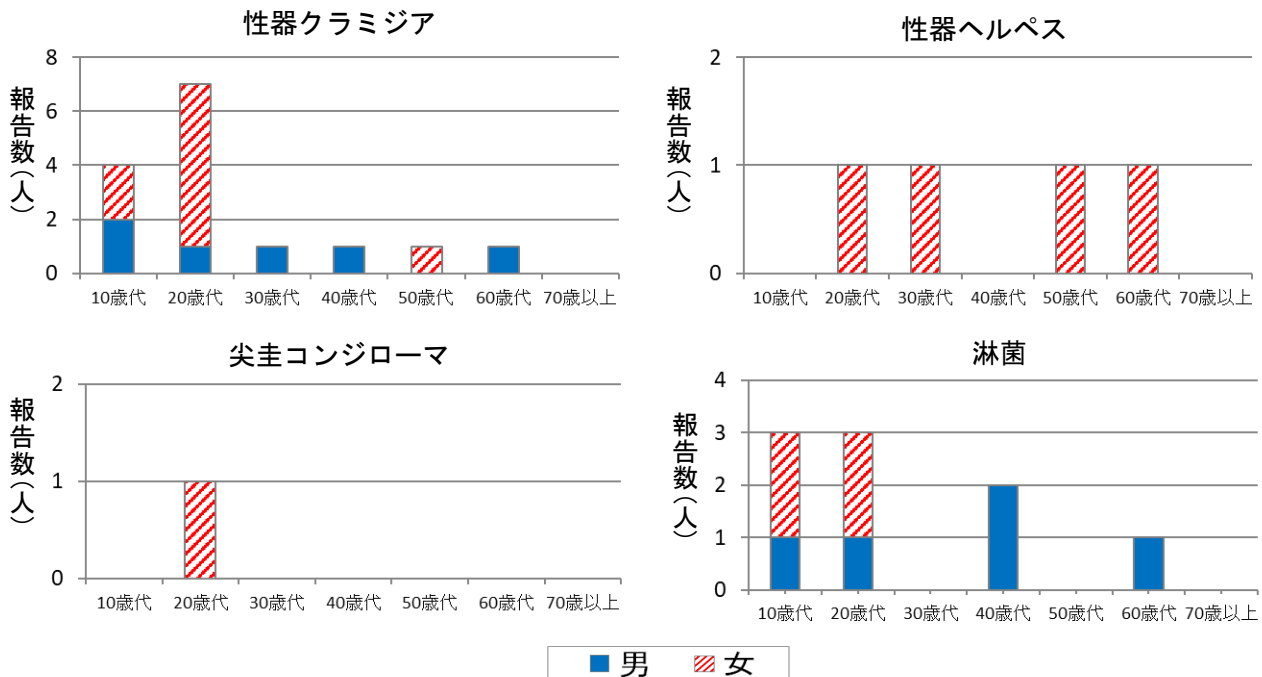
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月の約0.9倍、昨年6月の約0.4倍であった。
20歳代が全体の約半数を占めた。(男性6人・女性9人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.6倍、昨年6月の約0.4倍であった。(女性4人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年6月の0.5倍であった。(女性1人)

○淋菌感染症：報告数9人(0.69)で前月の約0.6倍、昨年6月の1.5倍であった。(男性5人、女性4人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は5,042人(5.1)で、前月比109%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,779人(2.8)で前月比110%、性器ヘルペスウイルス感染症811人(0.83)で前月比112%、尖圭コンジローマ581人(0.59)で前月比111%、淋菌感染症871人(0.89)で前月比105%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人(2.9)で、前月比143%と増加した。また、昨年6月(3.6)の0.8倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約1.4倍、昨年6月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,301人(2.7)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,232人(2.6)で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症56人(0.12)で前月比92%、薬剤耐性緑膿菌感染症13人(0.03)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第28週(07月11日～07月17日)

疾病名	第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	28	33	4	19			4	2	4	
感染症	定点当り	0.78	0.92	0.40	0.00	4.75	0.00	0.00	1.00	2.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	9	13	2	3	4	1	3			
	定点当り	0.25	0.36	0.20	0.50	1.00	0.33	0.75	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	9	5	1	1	3					
	定点当り	0.25	0.14	0.10	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	205	190	47	31	1	35	34	12	2	24
	定点当り	5.69	5.28	4.70	5.17	0.25	11.67	11.33	3.00	2.00	6.00
水痘	報告数	1	3	2	1						
	定点当り	0.03	0.08	0.20	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	87	73	10	38	4	17		1	3	
	定点当り	2.42	2.03	1.00	6.33	1.00	5.67	0.00	0.25	0.00	0.75
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	27	7	5	3	2	5	2	1	1
	定点当り	0.81	0.75	0.70	0.83	0.75	0.67	1.67	0.50	1.00	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	8	8	2		3	2	1			
	定点当り	0.22	0.22	0.20	0.00	0.75	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	1			1					
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	1	2	1	1						
	定点当り	0.17	0.33	0.33	0.50	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～28週)

2類感染症	結核	66例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	39例(2)
	破傷風	4例	百日咳	8例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	63808例(6747)		

()内は今週届出分、再掲